

〈校外セミナー：札幌開催〉

コースNo.
27

経営に活かす会計情報活用法

厳しい時代を勝ち抜く会計実務～儲かるしくみと資金計画～

対象者

経営者、経営幹部(候補者)

研修期間 平成30年2月2日(金) 1日間 研修時間 6時間 募集人員 30名 受講料 16,000円(税込)

研修会場 中小機構北海道 大会議室(札幌市中央区北2条西1丁目1-7 ORE札幌ビル6階)

● 研修のねらい

昨今の厳しい不況の中で生き残り、更には勝ち抜くためには、自社の経営状態を正確に把握し、保有する経営資源を有効に活用し、利潤を生み出すことが重要です。

この研修では、儲ける経営、お金を生む経営のための会計情報の見方と経営活動での活用法をわかりやすく説明し、特に昨今の経済情勢に対応した売上予算の作成、利益・資金計画の策定に役立つ内容を実践的に学んでいただきます。

● ポイント

①経営に役立つ会計の要点を、専門用語を使用せず、わかりやすく解説します。

②特に重要な箇所については、実際に計算を体験しながら理解できます。

③すぐに使える「研修参加者限定会計ソフト」(*)を配布します。

(*)「研修参加者限定会計ソフト」で金融機関に提出する資金繰り計画等が作成することができます。

限定配布ソフトは講義内容の解説を交えた復習ソフトであり、実務で使える計数管理支援ソフトです。

● カリキュラム概要

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

月/日	時間	科目	内容	講師 (敬称略)
2/2 (金)	9:20~ 9:30	開講式 オリエンテーション		西野税理士事務所 所長 西野 光則
	9:30~ 11:30	管理会計の 基本的知識① ～経営のための会計～	「儲かってもお金がない理由はなにか？」を理解すれば、キャッシュ・フロー経営が見えてきます。 また、「儲かることとお金があることの違い」など、ここでは、管理会計の基本的事項について、しっかり学ぶことができます。	
	11:30~ 12:30	管理会計の 基本的知識② ～具体的な経営体質 改善の考え方を マスターする～	「収益性を改善する」ということの意味とその方法について、また、収益性を改善するための財産(資産)の運用方法、資金(負債等)の調達方法といった基本的な事項について、具体的な事例を交えながらわかりやすく、かつ、実践的に学びます。	
	13:30~ 14:30	会計情報の 実践的活用① ～損益分岐点の 考え方と実践～	会計情報の実践的活用についてわかりやすく説明し、自社で簡単にシミュレーションができるようにします。まず、損益分岐点の考え方を基礎から学び、損益分岐点から今必要とされる資金分岐点を導き出し、さらに、損益分岐点を実務に活用する方法について、わかりやすく学びます。	
	14:30~ 16:30	会計情報の 実践的活用② ～売上予算は 必須条件～ ～利益・資金 計画の策定～	利益・資金計画をマスターするためには、売上予算、利益計画、資金計画といった3つの計画の関係を理解することが必要です。ここでは、簡単なモデルケースを用いて、①売上予算の策定、②次年度利益計画の策定、③次年度資金計画の策定を実践レベルで修得します。 これらの利益・資金計画は、金融機関との信頼関係づくりに威力を発揮します。	
16:30~ 16:50	終講式			

講師紹介



西野 光則 (にしのみつのり) 西野税理士事務所 所長

西野税理士事務所所長。(株)創造経営センターを経て独立後、主に製造業、建設業、流通業など中堅企業の経営診断、経営計画、業務管理システム構築などのコンサルティングに活躍。豊富な実務経験に基づき、中小企業の経営改革の視点からの実践的講義は全国で好評を得ている。